

拝啓 今年も早や5月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。近所の公園の土手では、ブタクサやヒメジオンなどの雑草がきれいに群れ咲いています。それを見るたびに、聖書マタイ伝6章の野の花を見よ、栄華を極めたソロモンでさえ、この花のように飾っていなかったという一句を思い起こします。

前回から、内村鑑三先生の『統一日一生』からの引用をお送りしています。内村先生の『一日一生』『統一日一生』には、先生が書かれた短文のエッセンスが詰まっているように思います。また最近、『道を開く―内村鑑三のことば』（NHK出版）という本を少しづつ読んでいます。著者は鈴木範久先生で、この本は、NHKで2013年4月～9月に放映された『道を開く―内村鑑三のことば』に加筆・再編集された本ということですが、読みやすく、新しく知る事実もあり、鈴木先生も、内村鑑三先生の信仰や思想の全体をわかりやすく後代の人に伝えようとされている名著だと感じています。

今井館E集会室で第2、第4日曜日に開いている高円寺東集会在、5月22日に第100回目を迎えることができました。畑中至純さんに調べていただいたところ、石館基さんのお宅で、高円寺家庭集会在が始まったのが、1980年4月6日（小西先生の召天は、同年4月9日）、石館さんの病気のため家庭集会在を閉じられたのが2011年11月13日、第663回でした。31年7か月続きました。そのあとを受けて佐生健光さんと私が中心になって、集会在を開いて、もう4年100回（石館家庭集会在から通算すれば763回）になったというわけです。時の刻みは着実に積み重ねられていくと感じます。

すぐる1月の間も、3回も旅行を致しました。第1は4月29日から5月1日、東北の被災地の見学旅行に参加しました。丸山眞男手帳の会の代表の川口重雄さんが主宰される会で、今年で2回目の参加でしたが、東松島市、南三陸町、気仙沼市、大船渡市、釜石市、橋本鉦山、遠野町などを訪ねることができ、有益な見学旅行でした。

第2は、5月19日、新しい山の仲間と陣馬山に行き、陣馬温泉でくつろぎました。これも楽しい山行でした。

第3は、岡山県鴨方町の妻の実家に行き、敷地の草刈り、生け垣の剪定などを手伝いました。お隣から電動の草刈り機を借用したものですから、10人力ぐらいの働きができ、愉快でした。

梅雨に向かう時期、皆様もどうかお身体ご自愛のうえ、お過ごしください。

敬具

平成28年5月25日

山口周三

エンカウターの読者各位